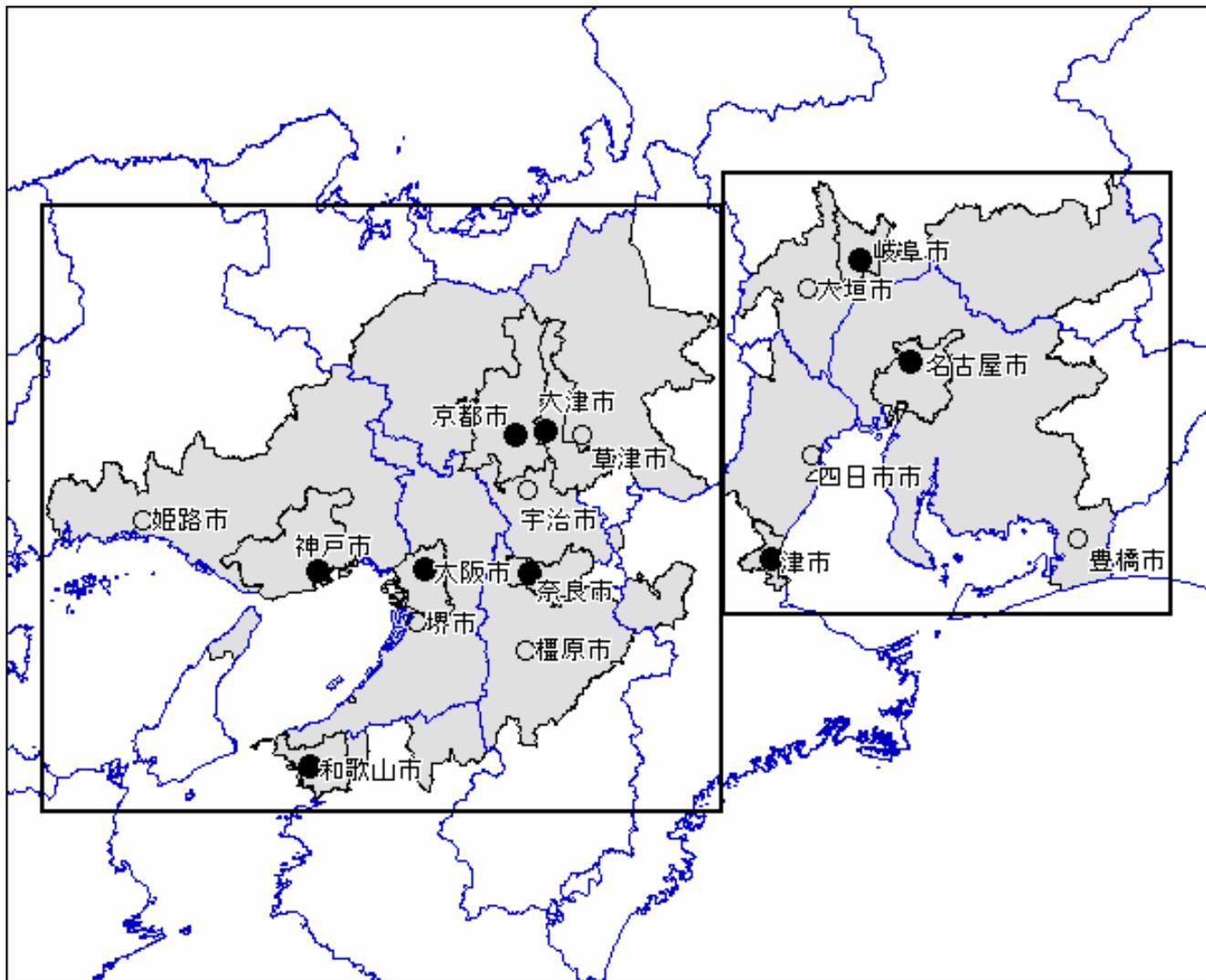


中央防災会議  
「東南海、南海地震等に関する専門調査会」  
(第 17 回)

説 明 資 料  
(図表集)

平成 16 年 1 1 月 2 6 日

中央防災会議事務局



凡例  
 ●：県庁所在地  
 ○：その他の都市  
 ▨ 近畿圏および中部圏  
 [平成 12 年国勢調査  
 を基本とする]

図-1 近畿圏及び中部圏  
 検討対象範囲とそれに含まれる  
 代表的な都市

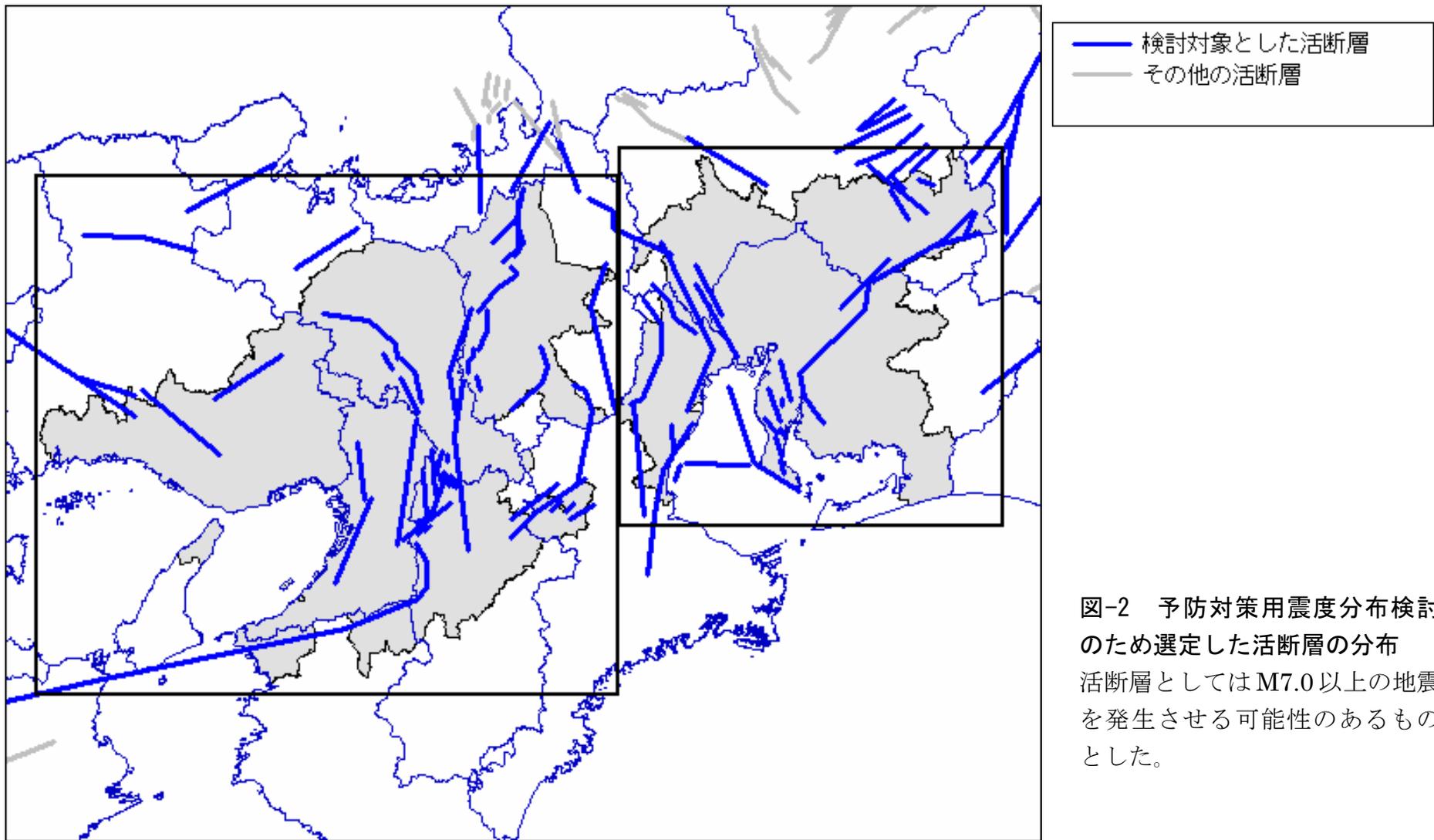


図-2 予防対策用震度分布検討のため選定した活断層の分布  
活断層としてはM7.0以上の地震を発生させる可能性のあるものとした。

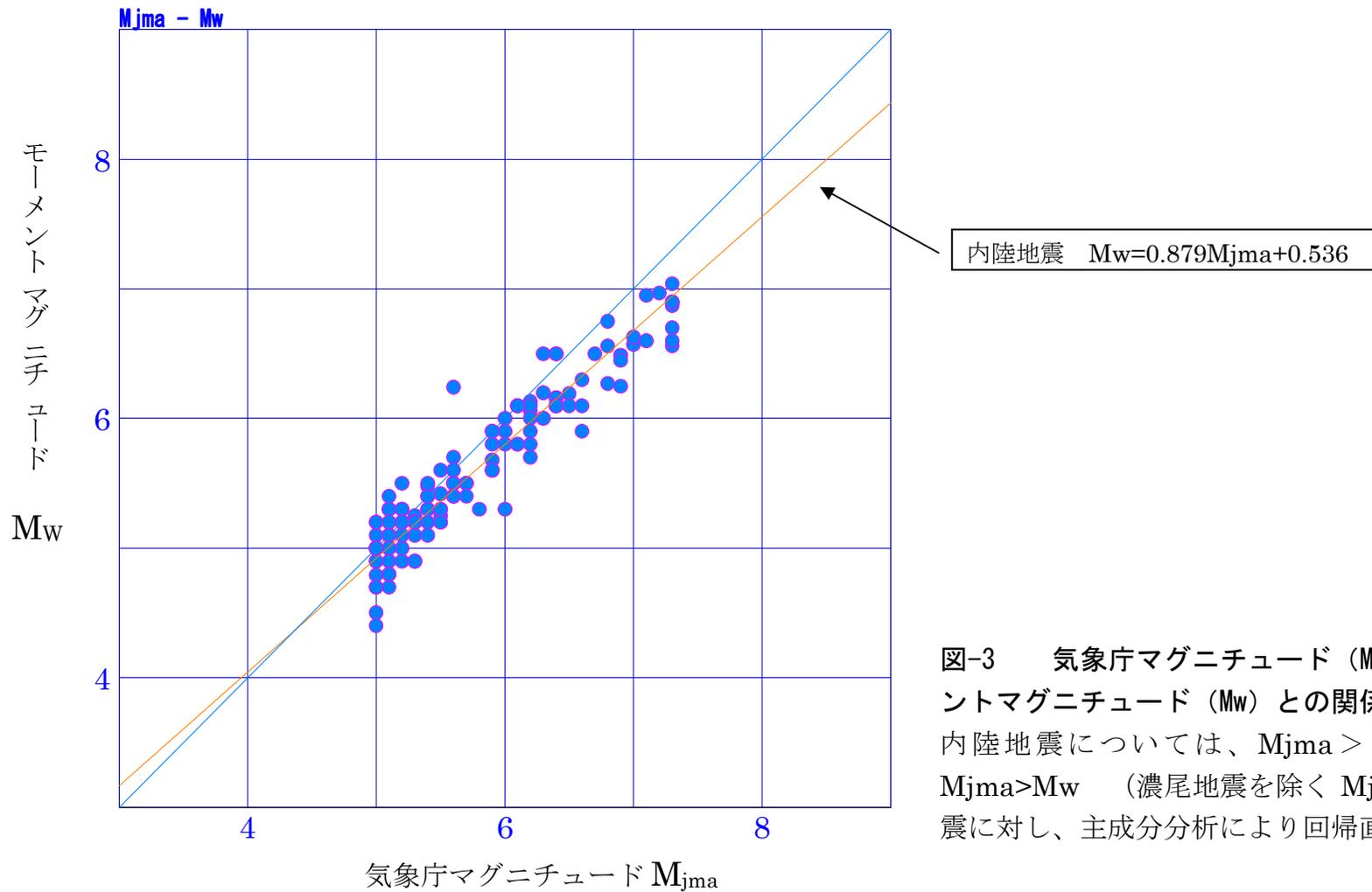


図-3 気象庁マグニチュード (M<sub>jma</sub>) とモーメントマグニチュード (M<sub>w</sub>) との関係  
 内陸地震については、M<sub>jma</sub> > 5 に対して、  
 M<sub>jma</sub> > M<sub>w</sub> (濃尾地震を除く M<sub>jma</sub> 5 以上の地震に対し、主成分分析により回帰直線を求めた。)